

都市再生整備計画 事後評価シート
北陸新幹線南越駅(仮称)周辺地区

令和6年3月

福井県越前市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福井県	市町村名	越前市	地区名	北陸新幹線南越駅(仮称)周辺地区			面積	4.1ha		
交付期間	平成28年度～令和4年度	事後評価実施時期	令和5年度	交付対象事業費	1,780百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名								
	基幹事業	地域生活基盤施設:多目的広場、東口広場、サイン設置 高質空間形成施設:東西連絡通路 高次都市施設:観光交流センター「道の駅越前たけふ」									
	提案事業	地域創造支援事業:地場産品提供施設									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	—	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	新たに追加した事業	基幹事業	高質空間形成施設:駅前広場	駅前広場を丹南地域の玄関口、広域交流の起点として高質化を図ることで、更なる観光の誘客を図るため事業を追加する。			駅前広場の高質化を図ることで、越前市の年間の観光者数の目標達成に寄与する。				
交付期間の変更	当初変更	平成28年度～令和2年度 平成28年度～令和4年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		影響なし						
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	目標値	数値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	指標1	越前市の観光者数	万人/年	101.5	H27(過去3年平均) 325.0	R4	338.6	○	あり なし	多目的広場、観光交流センター「道の駅越前たけふ」、観光サインの設置を地域資源へ誘導する起点として整備を実施したことで、観光者数の増加に繋がり、広域交流の起点としてのまちづくりの推進に寄与した。	令和6年7月
	指標2	高速道路を利用して越前市へ訪れる来訪者数	万台/年	187.6	H27(H26) 207.0	R4(R3)	172.9	△	あり なし	東口広場、サイン設置、東西連絡通路、駅前広場、市道南越駅周回線(仮称)(関連事業)、P&R駐車場(関連事業)、道の駅(道路区域)(関連事業)の整備を実施したことで、一定の成果が見られたが、新型コロナウイルスの影響で目標値を達成できない見込みである。	令和6年7月
	指標3	観光交流センター「道の駅越前たけふ」来場者数	万人/年	0	H27 5.0	R4	57.0	○	あり なし	観光交流センター「道の駅越前たけふ」、多目的広場の整備を実施したことで、来場者数は目標値を大幅に上回り、広域交流の起点としてのまちづくりの推進に寄与した。	令和6年7月
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	目標値	数値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	その他の数値指標1	—	—	—	—	—	—	—	—		
4)定性的な効果発現状況	なし										
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況			今後の対応方針等				
	モニタリング	—	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	官民連携による取組	—	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	持続的なまちづくり体制の構築	—	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

様式2-2 地区の概要

北陸新幹線南越駅(仮称)周辺地区(福井県越前市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 福井県中央部丹南地域の玄関口に相応しい、「広域交通の拠点」と「広域交流の起点」づくり 目標1: 国道8号・武生インターチェンジ・新幹線駅に近接している立地を活かした広域交通の拠点づくり 目標2: 半径10km圏内に集積している5つの伝統産業や越前海岸などの地域資源へ誘導をはかり、地域の活性化を促す、広域交流の起点としてのまちづくり	越前市の観光者数	単位: 万人	101.5	H27	325.0	R4	338.6	R5
	高速道路を利用して越前市へ訪れる来訪者数	単位: 万台	187.6	H27(H26)	207.0	R4(R3)	172.9	R4(R3)
	観光交流センター「道の駅越前たけふ」来場者数	単位: 万人	0.0	H27	5.0	R4	57.0	R5



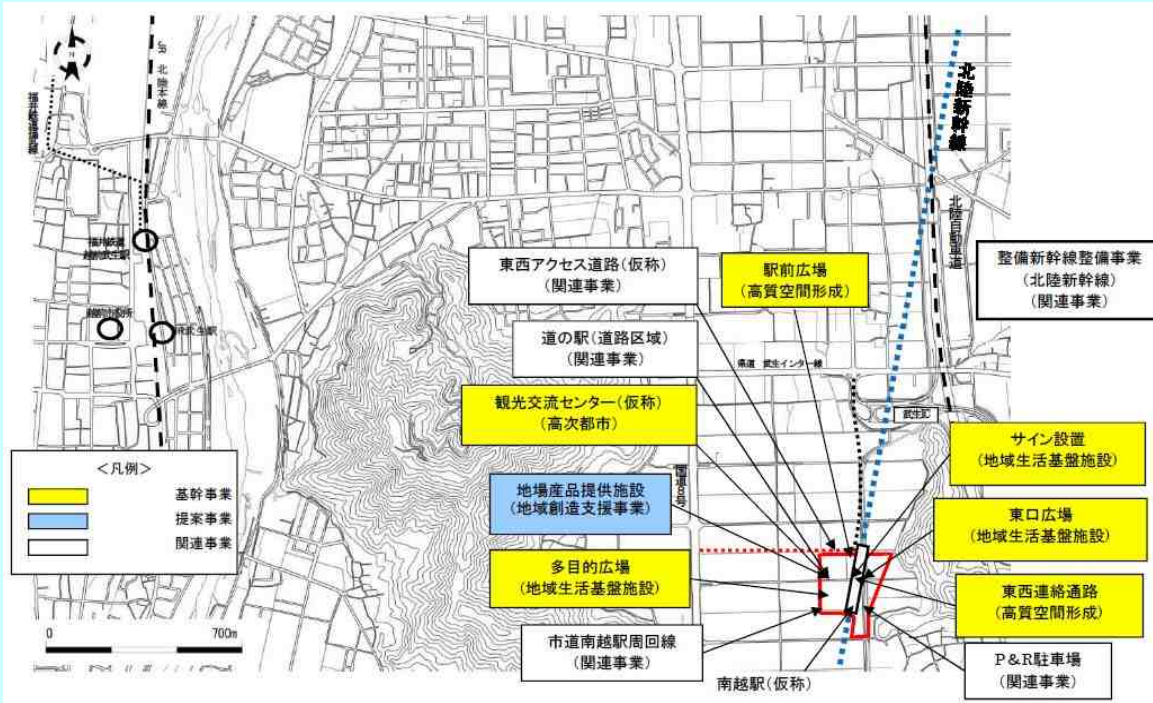
■観光交流センター「道の駅越前たけふ」



■多目的広場



■サイン設置



■駅前広場



■東口広場



■東西連絡通路

まちの課題の変化

- ・駅前広場や東口広場、東西アクセス道路、P&R駐車場等の整備により、国道8号、北陸自動車道、北陸新幹線の広域交通の拠点となる場が創出された。
- ・北陸新幹線金沢～敦賀間開業(JR北陸線の並行在来線化)に合わせ、中心市街地へのアクセス性向上を図るため、シャトルバスを運行し、市民や来訪者が公共交通を利用しやすい環境を整える必要がある。
- ・観光交流センター「道の駅越前たけふ」、多目的広場等の整備により、来訪者が集える場が創出された。
- ・北陸新幹線金沢～敦賀間開業(JR北陸線の並行在来線化)を契機とした周辺市町や観光地へのアクセス手段を整える必要がある。(レンタカー、広域タクシー等)
- ・北陸新幹線金沢～敦賀間開業(JR北陸線の並行在来線化)、越前市ゆかりの紫式部を主人公とする令和6年の大河ドラマ「光る君へ」の放送を契機に、紫式部を核とした地域の魅力を広く発信し、文化振興及び観光誘客に官民一体で取り組むことで、全国に越前市をはじめ福井県の魅力をアピールする必要がある。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・北陸新幹線金沢～敦賀間開業(JR北陸線の並行在来線化)を契機とした公共交通の利便性向上(交通結節機能の強化、二次交通の充実等)
- ・周辺市町の観光地へのアクセス手段の強化
- ・観光資源の磨き上げや伝統産業等を活用したイベントの充実による産業観光の推進